

ゼミナール合宿終了報告書（比較法ゼミナール）

法律経済学科 古屋 等

【概要】

2022年9月1日（木）～2日（金）の1泊2日で比較法ゼミナールの夏期合宿を実施した。2019年に実施して以来、3年ぶりの合宿となった。

対象学生は、今年の4年生3名と3年生3名の計6名で、宿泊先は群馬県吾妻郡草津町の草津温泉ホテルヴィレッジ、教員と学生1名の自動車に分乗して移動した。

第1日目は、途中伊香保にて昼食と階段街の散策の後、草津町に向かい、到着後は湯畑を散策してからホテルに入った。

15時から17時30日にかけて、学生の卒論作成指導を実施した。4年生は前学期に指導した内容を受けて卒論ダイジェストを10枚作成してもらい、レジュメによる報告の後、原稿の添削指導を行った。あわせて、就職活動状況についても報告してもらった。

3年生は、前学期に確定したテーマにしたがい、論文の構想（章立て）をレジュメにて報告してもらった。早期に就職活動に着手することができるように、想定している進路や準備状況についても説明してもらった。

第2日目は、前学期のゼミ活動の振り返りの後、雨天のためホテル内で親睦会として卓球の試合を実施した。普段話しをしない4年生と3年生の間での意思疎通がはかれたようである。

お昼前にチェックアウトの後、軽井沢方面に向かい、現代博物館に訪問してから昼食をとった。その後、学生の希望により近くの軽井沢ショッピングプラザに立ち寄った後に帰路についた。

2日とも天候に恵まれず当初の予定を変更した部分もあったが、4年生を含めて初めてのゼミ合宿を実施することができ、直接対面にて卒論指導もできたところから、一定以上の成果を達成することができたと考える。

【報告】

（4年生）「難民認定制度に関する比較法学的考察」

「自衛隊に関する比較法学的考察」

「障がい者の社会参加に関する比較法学的考察」

（3年生）「労働環境をめぐる男女格差の比較法学的考察」

「表現の自由とインターネット規制」

「尊厳死・安楽死」



